



遠藤周作文学館 第52回文学講座

遠藤周作の文学—長崎を舞台とした作品から—

【講座要旨】

遠藤周作の文学、その初期は〈西洋と日本〉というテーマを軸にした作品が中心でした。そして、長期入院を機に本格化していくのが、キリスト教と括られる諸作品となります。さらにこの展開で重要な意味を持ってくるのが、〈母なるもの〉という表現です。長崎を舞台に作品を描き続けるなかで、この〈母なるもの〉を遠藤はどう捉え、作品化していったのか、そうした視点から遠藤文学を読み解きます。

[日 時] 2026年1月24日（土）13:00～15:00

[場 所] 遠藤周作文学館 思索空間アンシャンテ

[定 員] 40名（先着順）

[参加料] 無料

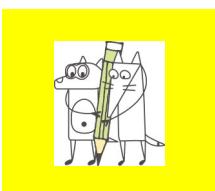
[講 師] 下野 孝文 氏（長崎県立大学名誉教授）

[申 込] FAXに氏名（ふりがな）、電話番号、申込人数を明記の上、
文学館まで。電話でも可。

FAXはこの用紙でもお申込みできます。

申込期間は12月1日（月）から 1月22日（木）まで。

<u>イベント名</u> 第52回文学講座	<u>氏名（ふりがな）</u>
<u>申込人数</u>	<u>ご連絡先（電話番号）</u>



〒851-2327 長崎市東出津町77
長崎市遠藤周作文学館
TEL: 0959-37-6011/FAX: 0959-25-1443